

「でこぼこ道 DE 観光 魅力度コンテスト」

提案の趣旨

「日本全国一日圏」のような掛け声の下、高速道路等の整備が進められてきた。しかし、もともと、目的地まで早く到達することは、経済性の利点はあるものの、本来の人間の旅する欲求に真に答えるものではないと思う。気楽にできる旅行とは異なり、じっくり時間をかける「旅」は、目的地へ到達するプロセスも大切な人生経験の価値を持つものであり、旅の途中の思い出、人とのふれあいや苦労話は、単に観光地での記念写真としての価値以上の記憶を残してくれる。

現在は、あまりにせわしい時代となり、ともかく、観光地と称される目的地に早く行き着くことばかりに気がとらわれ、旅の途中の楽しみあるいは苦労は省みられていない。

幸い、シーニックバイウェイ(風景街道)なるものが登場し、ドライブの途中の風景を楽しむような道路整備が進められることとなり、新しい道の楽しみについて模索が始まった。

今回の提案は、「旅」の醍醐味を再度振り返ってもらうために、あえて、これまでは、マイナスのことといわれていたことを、プラスの価値観で評価し、いろいろの価値や、時間的な楽しみ方等、多様な時間のすごし方を国民に提供することを目的としたものである。

新幹線や高速道路で遠方の観光地でもいけるようになってきているが、穴場としての魅力の高い観光地を紹介する。その際のポイントは、「やっと行き着いた！ 苦労したけどおもしろかった！」

単に、快適性や便利さだけを求める時代ではない、思い出の大きさや深さを求める人々への提供メニューとする。なお、登山等の歩行によるものとは別で、あくまで車の利用を基本とする。

評価の方法

- A：目的地としての観光資源と街（DID 地区等）からの距離【時間距離】 大きいほど高得点
くねくね道が続く場所、ぐるりと回り込まないといけない場所は、大歓迎。
- B：道路の舗装率【でこぼこ道の距離（未舗装）/道路距離】 大きいほど高得点
最近ほとんどなくなったと思われるが、未舗装のでこぼこ道は、極めて高い得点をゲットできる
- C：目的地としての観光資源の魅力度【著名な観光地と比較して】 高いほど高得点
苦労していくからには、それなりの魅力の観光資源が必要。滝や隠れ里旅館、勇壮な景色が眺望できる場所、あるいは歴史的な有名ないわれやいわくのある場所 等
- これらの条件で、市町村や一般から応募してもらい、ランクを HP にアップする。
 - HP には、実際に体験した人より、評価をもらうコーナーを設ける。評価は、いかに苦労して、すばらしい体験をしたかがポイントとなる。
 - 毎年 4 月に、「でこぼこ道 DE 観光 魅力度コンテスト」を行い、その年の順位をつける。
 - 季刊誌として、「でこぼこ道 通信」を配信する。あるいは HP 上に掲載する。

思い

当然、日常的な生活道路の改良は今後も必要で、道路整備の重要性は言うまでもない。しかし、利用効率を考慮すれば、拡幅や舗装等の整備を一律にする必要もない道路もあるのではなからうか。そのような「でこぼこ道」のままでもいい道路を見つけ、「道」の魅力として位置づけることを提案したい。

昔ながらの「でこぼこ道」で、ガタコトと揺られながらのんびり走る道でいいにもかかわらず、拡幅・舗装されてしまうことは、ある意味での私たちの豊かな財産を失うことになるのではないか。

「魅力ある不便さ」というものの価値を再考し、通行の危険性を排除した上で、古きよき時代を体験できる道があるのであれば、魅力のある道として、今後も、不便なまま残るようにしてほしいとも思っている。（街に住む人間の勝手な言い分といわれるかもしれないが）



以上